

# 見て聞いて感じて 心で会話をした四日間

(青少年海外派遣事業)

今年で十二回目を迎えたグアム派遣研修。今年八月二十二日(火)から二十五日(金)までの三日四日の日程で、二十人の中学生をグアムへ派遣しました。

研修では、現地イナラハン中学校との交流やチャモロ民族村、亜熱帯植物園での研修などグアムの風土や文化に触れ、国際感覚を養いました。なかでも、現地イナラハン中学校との交流は、これまでになく充実した時間を過ごしました。



海外派遣事業に参加して  
笠松中学校二年

宮崎有理子

私は、とにかくイナラハンの子と仲良くなるぞ、と思っていました。派遣当日、初めてグアムに来て、日本との違いに気がつく事ができました。一つ目は、

自然です。とにかく緑が多くて、海もキレイで、水平線を見たのも初めてでした。日本も、こんな緑あふれる国になると良いな

あ、と思いました。二つ目は、グアムの人は親切でもしろい

と思いました。出迎えをしてくれた先生達もすごく優しくうでした。二日目は、いよいよイナラハン中学校の子と会って、初

めは緊張して話しかけたりできなかつたけど、自分の英語が伝わった時はすごく嬉しくて、それからは、たくさん話をしたり、打ちとける事ができまし

た。グアムの郷土料理は、現地の子はおいしそうに食べていたので、日本とは食文化も全然違うなあと、思いました。三日目

は、前日の経験もあって、すぐに打ちとける事ができました。

自分たちが考えたゲームが盛り上ったのも嬉しかったです。イナラハン中学校の子を見せてくれたダンスは、グアムの伝統的

なダンスを知ることができて良かったです。全体としては、イナラハン中学校の子と仲良くなれたのがすごく良かったと思うし、笠松中学校の子で、違う学年の子とも仲良くなれたので嬉しかったです。また、グアムと

日本の違いもたくさん見つかったので、意味のある研修になったと思います。この経験を自信につなげて、友達になった子と手紙やメールのやりとりをしたり、これから交流を深めていきたいと思いました。



チャモロダンスに挑戦する派遣者

り、木曾川などの自然もたくさんあるところです。

一方グアムは、山はたくさんあつたけど、川や田んぼなどはそんなになく、スーパーマーケットや工場、ホテルなど、建て物がたくさんありました。そう思うと、笠松の方が住みやすい場所だなぁと思いました。

「グアム」と「日本」の違いと言われて、バツと思いつくもの。「文化」の違いです。日本の文化は、静かな雰囲気のものが多いですが、グアムは正反対。盛り上がる文化が中心です。

だから、グアムの人たちは、明るくて、とてもフレンドリーなんだなぁと思いました。他にもグアムはアメリカ圏だけあって、とつてもレディーファーストな所です。そこも日本とは大違い。

日本人は我先にと、自分を優先します。だけどグアムは、相手に譲る人たちが多くて、日本人とは違うと思いました。

この研修で、「日本」と「グアム」の文化、食、生活の違いなど、さまざまな違いを発見することができました。

その違いを発見したことによって、さらに「日本」が好きになつたし、グアムに行つた日より、今の方がグアムも好きになれたのでよかったです。

また、海外へ行つたら、「日本との違い」や「笠松との違い」を発見して、自分への財産にできたらいいなあと思いました。

日本とグアムとの違い  
笠松中学校一年  
日比野 愛

「日本」と言われると、京都・大阪など、古くからいろんな人々に慕われてきた町をイメージします。笠松も、田んぼなどがあ

## 明るい選挙ポスター 優秀賞決定

町明るい選挙推進協議会の「明るい選挙啓発ポスター」の募集に、小・中学校の児童生徒の皆さんから九十二点の応募がありました。

九月八日に審査会が開かれ、次の皆さんの作品十点が優秀賞に選ばれました。

なお、この作品は県選挙管理委員会主催のコンクールに出品されます。(敬称略)

【小学校の部】  
岩田英典・廣瀬未佳・内田光咲・武重有郁・高木涼太(以上、笠松小五年)

【中学校の部】  
橋本悠希・今井彩絵(以上、笠松中一年)渡辺綾香・横田恭子・尾藤公治(以上、笠松中二年)



力作揃いのポスター審査会